

福島県企業局ニュースレター 第17号 令和7年6月30日発行

皆さん、こんにちは。
紫陽花が色鮮やかに咲く季節となりました。
今回も工業用水道に関わる情報をお届けいたします。

【今回のトピック】

- 1 【御礼】第55回いわき工業用水利用者協議会総会開催
2 堺化学工業(株)さんが施設見学に来られました
3 2025年飯館村「はやま湖まつり」での出展について
4 工業用水道放射性物質モニタリング結果
5 ダムの貯水状況
6 工業用水って何? その3

1 【御礼】第55回いわき工業用水利用者協議会総会開催

6月13日（金）、第55回いわき工業用水利用者協議会が開催され、昨年度の事業報告や収支決算等、全ての議案について承認されました。

総会の後は、福島県いわき建設事務所協力のもと、8月7日開通予定の小名浜道路の現地視察を実施し、物流や観光など、利便性の向上に期待する声をいただきました。

改めて、ご参加いただいた皆様に深く御礼申し上げます。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

なお、当日の写真なども載せておりますので、ぜひいわき事業所Instagramをご覧ください。

Instagram : https://www.instagram.com/kigyoukyoku_iwaki/

2 堺化学工業(株)さんが施設見学に来られました

昨年度、受水企業の皆様に「工業用水道施設見学」のご案内をしたところ、堺化学工業(株)さんからお申し込みがあり、5月20日・27日に、施設見学を開催しました。

今回の施設見学ルートは、工業用水を取水している「高柴ダム」、その水を処理する「泉浄水場」、海水を取水、送水する「小名浜ポンプ場」を巡る、約3時間半のルートで、泉浄水場では、カーボンニュートラルの取り組みとして実施した「いわき事業所 ZEB 化改修」についても紹介させていただきました。

ご参加いただきましたのは、新入社員や経験豊富な方々で、工業用水を利用する視点から様々なご質問をいただきました。また、ZEB 化の取り組みについてもご理解いただき、有意義であった、とのご感想をいただきました。

ご見学いただいた堺化学工業(株)さんに、この場をお借りして改めて御礼申し上げます。

施設見学のお申し込みは随時受け付けておりますので、職員研修などにもご活用いただけますと幸いです。

昨年11月には、真野ダムの見学会を開催し、多くの受水企業の皆様の御参加を頂きました。今年も開催を予定しておりますので、是非御参加下さい。

3 2025年飯舘村「はやま湖まつり」での出展について

7月26日（土）に相馬工業用水の水源である「はやま湖（真野ダム）」において飯舘村主催で開催される「はやま湖まつり」に、企業局も出展します。

ダム見学会場で相馬工業用水に関するパネルを展示するほか、真野ダムからの水が工業用水にも使用されていることが分かるパンフレットの配布も予定しています。

「はやま湖まつり」では、ダム見学会以外にも、民俗芸能である大倉行政区の神楽披露や飲食店の出店などのイベントが予定されていますので、是非ご来場ください。

4 工業用水放射性物質モニタリング結果

各工業用水の直近の結果について公表します。

- 放射性ヨウ素 I 131、放射性セシウム Cs134、放射性セシウム Cs137
いずれも検出限界値未満（令和7年6月18日採水分）
- 小名浜工業用水道の海水中トリチウム
検出限界値未満（令和7年5月21日採水分）
※令和7年度におけるトリチウムのモニタリングは、東京電力によるALPS処理水の海洋放出方法に変更が無い限り、5月、8月、11月、2月に実施します。

なお、これまでの結果は以下のリンク先を御覧ください。

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/60015c/monitoring.html>

5 ダムの貯水状況

工業用水道の水源となっているダムの貯水状況についてお知らせします。
（令和7年6月30日現在）

- 磐城工業用水道 高柴ダム
貯水率 100%以上
貯水位 標高 53.50m
- 相馬工業用水道 真野ダム
貯水率 99.3%
貯水位 標高 172.87 m
今月から10月までは、雨が多い時期における貯水率でお知らせします。

貯水位は、以下のリンク先でも確認することが出来ます。

https://kaseninf.pref.fukushima.jp/web_pub/dam/010401_60_1_0.html

※貯水率は、目安としてお示ししています。ダムの貯水位は、治水上の観点から、時期、気象状況により調整する場合がありますので、御注意下さい。

◆ 6 工業用水って何？ その3 ◆

福島県企業局で運営している各工業用水について、皆様により知っていただくために、しくみや施設などについて、ご紹介していきます。

工業用水をお届けするための管には主に導水管、配水管があります。

今回は、導水管についてご説明します。

- 導水管とは、水源から浄水場まで水を送るためのパイプです。
- 管の材質は、一般的にダクタイル鋳鉄管が多く使用されています。
- ダクタイル鋳鉄管は、錆びにくく、地震にも強いなどの特徴があります。
- 福島県企業局の導水管は、主にダクタイル鋳鉄管を使用しており、管径 700mm～1100mm、合計 28.6km 設置しています。

次回は、配水管について紹介します。

<編集後記>

こんにちは。編集担当のSです。

今年も早いもので6月後半となり、暑さも厳しくなってきました。徒歩通勤のため朝から大変です。早く秋がきて涼しくなって欲しいと思います。

皆さんの御意見、御感想などをお聞かせいただければ幸いです。

御意見、御感想などはこちらからお願いします。

kougyou_keiei@pref.fukushima.lg.jp

福島県企業局

〒960-8670 福島県福島市杉妻町 2-16

電話 024-521-7572（代表）

mail kougyou_keiei@pref.fukushima.lg.jp

企業局いわき事業所

〒971-8185 福島県いわき市泉町字小山 310

電話 0246-56-5821（代表）

※ 配信先変更及び配信停止は、上記アドレスから御連絡願います。